

国立国語研究所学術情報リポジトリ

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面4「勧誘談話」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002756

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面4「勧誘談話」

小西 いずみ

(広島大学)

1. 場面設定

ペア入れ替え式ロールプレイ会話調査の場面4「勧誘談話」では、次のように場面を設定した。若年層では「自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）」を「ゼミ（サークル・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）」としている。

(1) 場面設定（場面4・高年層）

[A（電話の受け手）への指示] Bさんから電話がかかってきます。Bさんの持ちかける用件をいったんは断ってください。Bさんは説得してくるので、適度なところで了解してください。

[B（電話のかけ手）への指示] 日曜日に自治会（職場・親睦グループ等）の親睦会（飲み会、日帰り旅行等）があります。Aさんに電話をかけ、誘ってください。断られても説得してください。

「勧誘」は、相手に行為を要求するという点で「依頼」と共通するが、行為の共同性や、行為の結果の利益の帰属先という点で異なる。ただし、今回対象とした首都圏男性高年層・若年層各1組の談話では、直接的な行為の促し表現として勧誘形より依頼形が優先して現れた。かけ手は受け手がいったん断ることを予期していたため、要求する行為の負担が大きいという前提に立って方略を計画したと推測される。また、高年層ペアは兄弟で、Bが設定したイベント（勧誘対象の事態）ではB本人が幹事という前提となっていた。これらの点から、結果として、両ペアとも、典型的な勧誘場面とは言い難いものとなった。

2. 先行研究

ザトラウスキー(1986a, b)は、電話で友人をお茶会に誘うという勧誘の談話の文字化資料を提示し、その談話展開の構造と表現を分析している。話者の年齢・性別は明記されていないが、「お茶会」という点や言葉遣いから、中年層女性どうしだと推測される。ザトラウスキーはこの談話の展開を次のように捉えている。

- (1)あいさつ、呼びかけ→(2)勧誘の情報提供→(3)勧誘→(4)情報提供の付加→
- (5)細部の確認、了承→(6)情報提供の付加→(7)了承、終わり→
- (8)情報提供の付加→(9)細部の確認、了承、別れ→(10)雑談

すなわち、(5)でいったん「了承」の段階に至りながらさらに「情報提供の付加」があり、(7)から(8)でもそれが繰り返されている。(10)「雑談」も細部の確認・情報提供の付加ともみなせる内容である。展開単位の移行部分では、「相づち」などの実質的な話題を含まない「談話の最小単位」の連続や、普通体からデスマス体への変化が見られるという。また、(2)以降、誘う側は相手の積極性に応じて情報提供や勧誘の積極性を変化させている。(7)や(10)で、談話の終結を示す表現として「お願いします」という丁寧な定型表現が現れることにも、ザトラウスキーは着目している。

熊谷・篠崎(2006)は「荷物預け」「往診」「釣銭確認」という依頼の談話において、相手に対する働きかけの機能を担う「機能的要素」を抽出し、その上位分類としての「コミュニケーション機能」を設定している。例えば「荷物預け」では次の要素が見られる。

- 〈きりだし〉 注目喚起、用件
 - 〈状況説明〉 事情、不都合
 - 〈効果的補強〉 請け合い
 - 〈行動の促し〉 預かりの依頼、依頼の念押し、意向の確認
 - 〈対人配慮〉 恐縮の表明
- 〈 〉 内がコミュニケーション機能

3. 首都圏男性ペアの勧誘談話の分析

3. 1. 談話構造

首都圏男性ペアの勧誘場面の談話構造は、次のとおりである。

表 1 勧誘談話（場面 4）の構造

	高年層ペア	若年層ペア
開始部	0001-0002 相手確認	0001-0002 相手確認
主要部	0003 用件確認 (A)	0003 用件確認 (A)
	0004 情報提供と勧誘 (B)	0004-0012 情報提供 (B)
	0005-0012 細部の確認 (A) と 情報付加 (B)	0013-0016 細部の確認 (A) と 情報付加 (B)
	0013-0036 不都合の表明 (A) と 説得 (B)	0017 用件の再確認 (A)
	0037-0060 行為実現に向けた調整	0018-0020 情報提供と勧誘 (B)
	0061 了承 (A)	0021-0024 不都合の表明 (A)
	0062-0074 念押し (B) と了承 (A)	0025-0032 細部の確認 (A) と 情報付加 (B)
		0033-0040 不都合の再表明 (A) と 説得 (B)
		0041-0076 行為実現に向けた調整
		0077-0079 了承 (A)

		0080-0090 念押し (B) と了承 (A) 0091-0093 用件終了の確認 (A)
終了部	(主要部から連続)	0093-0094 ねざらい (A・B)

「行為実現に向けた調整」としたものには次のような下位構造が見いだせる。

高年層ペア：0037-0045 情報付加 (A)、0046-0048 再勧誘 (B)、0049-0052 不都合の表明 (A)、0053-0060 提案 (A・B)

若年層ペア：0041-0053 支持表明 (A) と情報の再付加 (B)、0054-0060 提案 (B)、0061-0064 細部の確認 (A) と情報付加 (B)、0065-0076 提案の了承・依頼 (A) と了承 (B)

主要部は、両ペアとも、「用件確認」から「勧誘」を経て「不都合の表明と説得」に至る前半と、「行為実現に向けた調整」から「了承」を経て「念押しと了承」に至る後半に分けられる。「行為実現に向けた調整」が起こるのは場面設定の指示に即したものだが、その調整のしかたは今回対象とした2ペア間でかなり異なっている。

高年層の主要部では、「用件確認」(A) と「情報提供と勧誘」(B) が各1発話の往復で達成される。その後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) の反復があり、「不都合の表明」(A) と「説得」(B) が反復される。「説得」は周辺情報の付加や主張から成る。「行為実現に向けた調整」は、Aが自身の不都合についての「情報付加」を行うことで始まる。Bはその情報を受けて行為実現が可能だと判断、「再勧誘」するが、Aは新たに「不都合の表明」を行う。その後、A・Bが相互の発話を補い合いながら言わば協同的に「Aは会に遅刻するが参加する」という趣旨の「提案」を行い、Aが「了承」する。その後、定型表現「よろしく」を交えて「念押し」(B) と「了承」(A) の反復が続き、談話が終了する。

若年層での主要部では、「用件確認」(A)、
「情報提供」(B) の後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) の反復を経て、改めて「用件の再確認」(A) があり、Bが明示的な「勧誘」を行う。Aの「不都合の表明」の後、「細部の確認」(A) と「情報付加」(B) を挟み、再度「不都合の表明」(A)、
「説得」(B) となる。このAの「細部の確認」は「不都合の表明」の補強を意図したものだろう。「行為実現に向けた調整」は、「情報付加」(B) に対する「支持表明」(A) から始まる。Bは「情報の再付加」を行った上で、譲歩した「提案」を行う。Aはそれを「了承」するとともにその実現を助ける行為の「依頼」を行い、Bが「了承」、Aがイベント出席を「了承」する。ここでAは、笑いを交えて「そうゆう方向で、よろしくお願ひします」という過度に丁寧な定型表現を用いた。ザトラウスキー (1986a、b) の指摘どおり、丁寧な定型表現を使うことによって談話展開の単位の終結・移行が示されるとともに、ここではAの行為実現のためにBが「共犯」となることが相互

了解されており、定型表現と笑いは、その関係の確認とそれに対する「茶化し」「照れ」が顕在化したものと言える。終結部が「ねぎらい」なのも特徴的である。

3. 2. 勧誘の要素

熊谷・篠崎(2006)を参考に、主要部に現れた、勧誘の機能を持つ要素を抽出した。表2に示す。上位カテゴリのうち、〈行動の促し〉が、勧誘行為に直接対応する部分となる。

表2 勧誘の要素

	高年層ペア	若年層ペア
きりだし	注目喚起	注目喚起
状況説明	イベント提示	イベント提示
行動の促し	都合の確認、依頼、勧誘、意向の確認	依頼、定型表現による念押し
効果的補強	補足情報の提示、重要性の主張 第3者の情報の提示、不都合の否定、 不都合への対処の提示、脅し、期待表明	補足情報の提示、当為性の主張 利益の提示、解決法の提案、 不利益がないことの保証
対人配慮	謝罪	(なし)

両ペアを比べると、高年層は、①〈行動の促し〉として《依頼》《勧誘》という直接的な行為要求表現のほか《都合の確認》《意向の確認》という間接的な表現を使っている、②〈効果的補強〉のバリエーションが多い、③〈対人配慮〉の表現を使っている、という点が指摘できる。総じて高年層は、対人的に配慮しつつ、行為実現のための方略を駆使している。

表3、4に、高年層・若年層それぞれの具体例を談話展開に沿って示す。

表3 高年層ペアにおける勧誘の要素の出現

情報提供・勧誘	0004：あのさ《注目喚起》、今度の日曜日さ、そろそろおやじをしのぶ会みたいのをやろうと思ってんだけど《イベント提示》、日曜日、予定空いてるかな《都合の確認》。 0006：うーん、でき、できたらさ、上野の、あの一、江知勝あたりでさ、あ一、一杯飲んで、昔話でもしようかなーと思ってんだけど《補足情報の提示》、どうだろう《都合の確認》。
説得	0016：えー《注目喚起》、だっておやじの会だぞ、おまえ《重要性の主張》。どっちが大事だか考えて、そ一、うん。こっち来てくれよ、おまえ《依頼》。だめかい《都合の確認》。 0022：あ、そっか、悪かったな、そりゃな《謝罪》。だけどこれな、うーん、ソモン会も大事かもしれないけど、おやじの会なんだからさ《重要性の主張》、ん一、なんとか、うん。ん一、都合できないかな《都合の確認》。ん一、Yもうまく時間空きそうなんで《第3者の情報の提示》。 0026：うん、会費、8千円ぐらいなんだけど、うん。まあ、俺たち飲むから、うん。ま、一人1万円の予定で、え一、うん。一杯飲みたいなーと、思ってんだけど《補足情報の提示》、どうだろう《都合の確認》。

行為実現に向けた調整	0042：うん、大丈夫↑。《都合の確認》 0046：あ、じゃあ、30分あれば一、うん。上野まで来られるな《不都合の否定》。あ、じゃあ、行こ行こ。《勧誘》 0056：かんぱ、うん、乾杯、は、先に始めてるからさ。あの一、来るもの食ってるから《不都合への対処の提示》。そのかわり肉なくなるぞ、おまえ。遅れて来るから《脅し》。いいかい、それでも《意向の確認》。
念押し	0066：はい、待ってまーす。《期待表明》 0068：でも、追加の肉は高いから。《脅し》 0070：来てくれよー。《依頼》 0072：楽しみにしてまーす。《期待表明》 0074：はい、待ってまーす。《期待表明》

表4 若年層ペアにおける勧誘の要素の出現

情報提供・勧誘	0004：えっとさー《注目喚起》。日曜日に、なんか、なんだろ、研究室の、なんか、の、飲み会が、こう、なんかあるんだよね、夜《イベント提示》。だから、《※言いさし》 0018：飲み会、飲み会があるからー《イベント提示》、ちょっと、うん、ちょっと、来てくれないかな《依頼》。
説得	0028：なんかもう、学部も、普通に、ま、みんな来い、みたいな感じで。《補足情報の提示》 0034：いや、でもさ、いやー、断れないっしょ、あれは。うん。《当為性の主張》 0040：んー、でもねー、《※言いさし》
行為実現に向けた調整	0044：けっこ、い、毎回結構、人がかわるからさ、なんだろ、やっぱり、絶対なんかおもしろい、出会いとかがあるとしょ、あの人。《利益の提示》 0054：んー、だから、次の日に、影響が出ない程度に一、飲めばいいんじゃないかな。《解決法の提案》 0072：そりゃ、そりゃでも、全然大丈夫だと思うよ。《不利益がないことの保証》 0074：あー。《不利益がないことの保証》 0076：あー。《不利益がないことの保証》
念押し	0084：じゃあ、よろしくね。《定型表現による念押し》 0086：あー、オッケ、オッケ。《不利益がないことの保証》

高年層ペアでは、最初の〈行為の促し〉は間接的な《都合確認》で、その後も《補足情報の提示》などの〈効果的補強〉と組み合わせた《都合確認》が繰り返される。〈効果的補強〉としてイベントの《重要性の主張》と組み合わせた場合は直接的《依頼表現》がある。また、「行為実現に向けた調整」段階では、Aが都合を再確認する際は「大丈夫↑」と《都合の確認》で配慮を示しながら、Aが回答するとすかさず《不都合の否定》に直接的な《勧誘》が続く。さらに「調整」段階の後部に現れる「遅れてくると肉なくなる」という冗談めいた《脅し》と《意向の確認》が続く。〈効果的補強〉の効果の度合いや对人的配慮の

必要性に応じて〈行為の促し〉表現の直接／間接性が選択されていると言える。「念押し」の段階では、《脅し》や《依頼》を反復させながら「待っている」「楽しみ」という《期待表明》が繰り返される。対人配慮をしつつ、やや定型的な表現を使って談話の終結へと至っている。

若年層の場合、Bは、0004 で《イベント提示》後、〈行為の促し〉を続けるつもりで発話したが、Aが「細部の確認」割り込み、言いさした。その後、Aの「用件の再確認」に応じて簡略な《イベント提示》と《依頼》を明示する。「説得」の段階での要素の出現数が高年層に比べて少ない。0028 はAが「Yさんが誘えと言ったのか」と「細部の確認」を行ったのに対する回答だが、それを「学部も、普通に」「みんな来い」と言い換える。直接的には《補足情報の提示》だが、間接的に勧誘行為の《妥当性の主張》となっている。0040 は〈効果的補強〉に属すると推測されるが言いさし。AがYに対する恩義を表明する形で譲歩の姿勢を見せることで、「行為実現に向けた調整」の段階に入る。0044 でBはAの「Yさん」への評価を利用してイベント出席の《利益の提示》をし、Aがそれを支持したのを受け、間をおかず、Aの不都合（酒が飲めない）の《解決法の提案》へと続ける。Aがその解決法を採用し、予めYにその旨断るよう依頼・念押しするのに対し、0072、74、76 でそれを請け負う形で《不利益がないことの保証》を行う。「念押し」の段階では、「よろしくね」という《定型表現による念押し》、Aの問いかけに対する《不利益がないことの保証》を繰り返す。Bは全体を通じて、明示的な行為指示表現は《依頼》のみである。Aにとって負担となる誘いであることを予期していたためだろうか。AがBの発話の意図を推論して発話にわりこみ、主導権を握ることが多いことも〈行為の促し〉や〈効果的補強〉が少なかった一因と考えられる。

4. まとめ

談話例の分析により、勧誘の談話において、必ずしも《勧誘》という〈行為の促し〉が直接的に顕現せず、《都合・意向の確認》や《依頼》という表現でなされることが多いと分かった。また、〈効果的補強〉と〈行為の促し〉との組み合わせにおいて、前者の効果や対人配慮の必要性を見積もりながら、後者の直接／間接性を選択していることもうかがえた。

勧誘表現が顕現しないという点に関しては、ロールプレイ開始前の指示において、相手が断る可能性を予期させたため、過度に配慮した面もあったらうと思われる。ただ、原理的には「勧誘」と「依頼」とは、行為の共同性や利益の帰属先において相違がありながらも連続的なものであり、行為の負担の見積もりや対人配慮によって、表現が選択されると考えたほうがよいだろう。

参考文献

熊谷智子・篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」国立国語研究所編『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

ザトラウスキー, ポリー(1986a)「談話の分析と教授法(1)勧誘表現を中心に」『日本語学』5
巻11号

ザトラウスキー, ポリー(1986b)「談話の分析と教授法(2)勧誘表現を中心に」『日本語学』5
巻12号

ペア入れ替え式ロールプレイ会話：場面4「勧誘談話」

(1) 首都圏高年層男性ペア

【開始部】

相手確認	0001-1	A	はい、	注目表示
	0001-2	A	A (姓) です。	陳述・表出
	0002-1	B	はい、	注目表示
	0002-2	B	B (名) で一す。	陳述・表出

【主要部】

確認用件	0003-1	A	あ、	注目表示
	0003-2	A	なーに。	情報要求
情報提供と勧誘	0004-1	B	あのさ、	注目要求 《注目喚起》
	0004-2	B	今度の日曜日は、そろそろおやじをしのぶ会みたいのをやろうと思ってんだけど、	陳述・表出 《イベント提示》
	0004-3	B	日曜日、予定空いてるかな。	情報要求 《都合の確認》
細部の確認と情報付加	0005-1	A	えっ、	注目表示
	0005-2	A	日曜だったって、あさってじゃない。	情報要求
	0006-1	B	うん、	注目表示
	0006-2	B	あさってだけど。	陳述・表出
	0006-3	B	うーん、	注目表示
	0006-4	B	でき、できたらさ、上野の、あの一、江知勝あたりでさ、あ一、一杯飲んで、	陳述・表出(1/2)
	0007	A	／／うん。	注目表示
	0008-1	B	昔話でもしようかなーと思ってんだけど、	陳述・表出(2/2) 《補足情報の提示》
	0008-2	B	どうだろう。	情報要求 《都合の確認》
	0009-1	A	えっ、	注目表示
	0009-2	A	ちょっと待って。	行為要求
	0009-3	A	時間は↑。	情報要求
	0010-1	B	んー、	注目表示
	0010-2	B	夕方6時から。	陳述・表出
0011	A	6時か／／ら。	注目表示	
0012-1	B	うん、	注目表示	

	0012-2	B	／／6時から。	陳述・表出
不都合の表明と説得	0013	A	この日ねー、	陳述・表出(1/2)
	0014	B	うん。	注目表示
	0015	A	ソモン会の会議が入ってたよ。	陳述・表出(2/2)
	0016-1	B	えー、	注目表示 《注目喚起》
	0016-2	B	だっておやじの会だぞ、おまえ。	陳述・表出 《重要性の主張》
	0016-3	B	どっちが大事だか考えて、そー、	行為要求(1/2)
	0017	A	／／うん。	注目表示
	0018-1	B	こっち来てくれよ、おまえ。	行為要求(2/2) 《依頼》
	0018-2	B	／／だめかい。	情報要求 《都合の確認》
	0019	A	だって命日はまだちょっと先だった／／からさ、	陳述・表出
	0020	B	うーん。	注目表示
	0021	A	まさかぶつかるとは思わなかつたよ。	陳述・表出
	0022-1	B	あ、そっか、	注目表示
	0022-2	B	悪かったな、そりゃな。	関係づくり、儀礼 《謝罪》
	0022-3	B	だけどこれな、うーん、ソモン会も大事かもしれないけど、おやじの会なんだからさ、	陳述・表出 《重要性の主張》
	0022-4	B	んー、なんとか、	行為要求(1/2)
	0023	A	／／うん。	注目表示
	0024-1	B	んー、都合できないかな。	行為要求(2/2) 《都合の確認》
	0024-2	B	んー、Yもうまく時間空きそうなんで。	陳述・表出《第3者の情報の提示》
	0024-3	B	会／／費一、	(未完発話)
	0025	A	あ、みんな来る／／の。	情報要求
0026-1	B	うん、	陳述・表出	
0026-2	B	会費、8千円／／ぐらいなんだけど、	陳述・表出	
0027	A	うん。	注目表示	
0028	B	まあ、／／俺たち飲むから、	陳述・表出	
0029	A	うん。	注目表示	

	0030	B	ま、一人1万円の予定で、えー、	陳述・表出(1/2)
	0031	A	うん。	注目表示
	0032-1	B	一杯飲みたいなーと、思ってたけど、	陳述・表出(2/2) 《補足情報の提示》
	0032-2	B	どうだろ。	情報要求 《都合の確認》
	0033	A	ろ、6時でしょ。	情報要求
	0034	B	うん、//6時、6時。	陳述・表出
	0035	A	6時、6時。	注目表示
	0036	B	うん。	注目表示
行為実現に向けた調整	0037-1	A	えー、	注目表示
	0037-2	A	ちょっと待ってよ。	行為要求
	0038	B	うん。	注目表示
	0039-1	A	会、会のプリント見てみる//からね。	陳述・表出
	0039-2	A	ちょっと待ってね。	行為要求
	0040	B	うん、うん、うん、ちょっと待ってる待ってる待ってる。	陳述・表出
	0041	A	あ、あ、ええとね、	注目要求
	0042-1	B	うん、	注目表示
	0042-2	B	大丈夫↑。	情報要求 《都合の確認》
	0043	A	よ、4時からで、	(未完発話)
	0044	B	うん。	注目表示
	0045	A	5時半頃には終わるね。	陳述・表出
	0046-1	B	終わるか。	注目表示
	0046-2	B	あ、じゃあ、30分//あればー、	(未完発話)
	0047	A	うん。	注目表示
	0048-1	B	上野まで来られるな。	陳述・表出 《不都合の否定》
	0048-2	B	あ、じゃあ、行こ行こ//行こ。	行為要求《勧誘》
	0049-1	A	んー、	注目表示
	0049-2	A	ちょっと、	(未完発話)
	0050	B	//うん。	注目表示
0051	A	30分じゃ、	陳述・表出	

	0052-1	B	え、／／無理か。	注目表示
	0052-2	B	うん。	注目表示
	0053	A	とにかく、じゃあ、	(未完発話)
	0054	B	じゃ、／／少し、うん。	注目表示
	0055-1	A	うんうん。	注目表示
	0055-2	A	あの、／／会議は会議で終わらして。	陳述・表出
	0056-1	B	かんぱ、うん、乾杯、は、先に始めてるからさ。	陳述・表出 《対処の提示》
	0056-2	B	あの一、	注目要求
	0057	A	／／はい。	注目表示
	0058-1	B	来るもの食ってるから。	陳述・表出 《対処の提示》
	0058-2	B	そのかわり肉なく／／なるぞ、おまえ。	陳述・表出《脅し》
	0059	A	{笑}	注目表示
	0060-1	B	遅れて来るから。	陳述・表出
	0060-2	B	／／いいかい、それでも。	情報要求 《意向の確認》
了承	0061	A	{笑} はい、わかった。	陳述・表出
念押しと了承	0062-1	B	はい、	注目表示
	0062-2	B	／／あー、じゃ、さ、	(未完発話)
	0063-1	A	じゃあ、なんとか、／／少し遅刻するけど、	陳述・表出
	0063-2	A	うん、	注目表示
	0064-1	B	8千円だな、	陳述・表出
	0064-2	B	うんうん。	注目表示
	0065-1	A	うん。	注目表示
	0065-2	A	／／行きます、行きます。	陳述・表出
	0066-1	B	はい、	注目表示
	0066-2	B	待ってまーす。	陳述・表出 《期待表明》
	0066-3	B	うん。	注目表示
	0067	A	／／はい。	注目表示
	0068	B	でも、／／追加の肉は高いから。	陳述・表出《脅し》
	0069-1	A	じゃ、はい、	注目表示
	0069-2	A	楽しみに、	陳述・表出

	0069-3	A	はい。	注目表示
	0070-1	B	来てくれよー。	行為要求《依頼》
	0070-2	B	はい。	注目表示
	0071-1	A	はい、	注目表示
	0071-2	A	わかり／／ました。	陳述・表出
	0072	B	楽しみにしてまーす。	陳述・表出 《期待表明》
	0073-1	A	はい。	注目表示
	0073-2	A	はい、	注目表示
	0073-3	A	じゃ、よろ／／しく。	関係づくり, 儀礼
	0073-4	A	はい、	注目表示
	0073-5	A	行きまーす。	陳述・表出
	0074-1	B	はい、	注目表示
	0074-2	B	待ってまーす。	陳述・表出

(2) 首都圏若年層男性ペア

【開始部】

相手 確認	0001	A	もしもし。	注目要求
	0002-1	B	あー、	注目表示
	0002-2	B	もしもし、	注目要求
	0002-3	B	A (姓)。	陳述・表出

【主要部】

確認 用件	0003-1	A	ん↑、	注目表示
	0003-2	A	どした。	情報要求
情報 提供	0004	B	えっとさー。	注目要求 《注目喚起》
	0005	A	うん。	注目表示
	0006	B	日曜日に、なんか、	(未完発話)
	0007	A	うん。	注目表示
	0008	B	なんだろ、研究室の、なんか、	(未完発話)
	0009	A	うん。	注目表示
	0010	B	の、飲み会が、こう、なんかあるんだよね、夜。	陳述・表出 《イベント提示》
	0011	A	うん。	注目表示
	0012	B	だから、	(未完発話)

細部の確認と情報付加	0013	A	それって来週↑。	情報要求
	0014-1	B	あー、	注目表示
	0014-2	B	そうそうそうそう。	陳述・表出
	0015-1	A	来週の日曜。	注目表示
	0015-2	A	あ、それってさー、Yさんの、あの、ん、あの例の飲み↑。	情報要求
	0016-1	B	{間} あーあーあーあー。	注目表示
	0016-2	B	いや、そうそうそう。	陳述・表出
用件の再確認	0017-1	A	あ、	注目表示
	0017-2	A	で↑。	情報要求
	0017-3	A	あ、	注目表示
	0017-4	A	ごめんごめん。	関係づくり、儀礼
	0017-5	A	それで↑。	情報要求
	0017-6	A	その飲み会がどうしたの。	情報要求
情報提供と勧誘	0018	B	飲み会、飲み会があるからー、／／ちょっと、	陳述・表出 《イベント提示》
	0019-1	A	うん。{間}	注目表示
	0019-2	A	うん。	注目表示
	0020-1	B	うん、	注目表示
	0020-2	B	ちょっと、来てくれないかな。	行為要求《依頼》
不都合の表明	0021-1	A	えっ、	注目表示
	0021-2	A	俺↑。	情報要求
	0022	B	うん。	陳述・表出
	0023-1	A	いやいやいやいや。	注目表示
	0023-2	A	ちょっとさー。	(未完発話)
	0023-3	A	いや、いいっしょ。	陳述・表出
	0023-4	A	行ったら俺、飲まされるから。	陳述・表出
	0023-5	A	俺弱いからさー、お酒。	陳述・表出
	0024	B	うん。	注目表示
細部の確認と情報付加	0025-1	A	なんで。	情報要求
	0025-2	A	Yさんが、こう、行け、みたいな感じで言われたの。	情報要求
	0026	B	／／いやー、なんか、	注目表示
	0027	A	あの、誘えよ、みたいな。	情報要求
	0028-1	B	そうそう。	陳述・表出
	0028-2	B	なんかもう、	陳述・表出(1/3)
	0029	A	うん。	注目表示
	0030	B	学部も、	陳述・表出(2/3)
	0031	A	うん。	注目表示

	0032	B	普通に、ま、みんな来い、みたいな感じで。	陳述・表出(3/3) 《補足情報の提示》
不都合の再表明と説得	0033-1	A	いやー、	注目表示
	0033-2	A	いいっしょ、別に。	陳述・表出
	0033-3	A	ちょー、	注目要求
	0033-4	A	日曜さー、	(未完発話)
	0033-5	A	うーん、	注目表示
	0033-6	A	日曜でしょ。	情報要求
	0033-7	A	いやー、	注目表示
	0033-8	A	ごめん。	関係づくり、儀礼
	0033-9	A	ちょっと日曜ちょっと、それ、パスっての、頼むわ。	行為要求
	0033-10	A	ちょっと、なんか、んー。	(未完発話)
	0034-1	B	いや、	注目表示
	0034-2	B	でもさ、	陳述・表出(1/2)
	0035	A	うん。	注目表示
	0036-1	B	いやー、断れないっしょ、あれは。	陳述・表出(2/2) 《当為性の主張》
	0036-2	B	うん。	注目表示
	0037-1	A	いや、	注目表示
	0037-2	A	わかるけどさー。	陳述・表出
	0037-3	A	ちょっと俺、もう、この前さー、飲み行って吐いちゃってさー。	陳述・表出
	0037-4	A	あの、Dさんから、こう、なん、もう、Yさんと関わるな、みたいな感じ、い、言ってく、言ってきたらってじゃん。	陳述・表出
	0038	B	あー。	注目表示
	0039-1	A	だから、だーら、俺、B(あだ名)ちゃんとか、迷惑かけてないからいいんだけどさー。	陳述・表出
	0039-2	A	俺、そうゆうのがちょっと前あったからさー。	陳述・表出
	0039-3	A	ちょっと、あん、あの一、あんま、Yさんとは、ちょっとあんま、飲み会はちょっとなしにしようかなー、みたいな、思ったんだけど。	陳述・表出
	0040-1	B	ふーん。	注目表示
0040-2	B	んー、	注目表示	
0040-3	B	でもねー、	(未完発話)	
0041-1	A	うん。	注目表示	
0041-2	A	まあね、わかるよ。確かに。	陳述・表出	
0042	B	//うん。	注目表示	
0043	A	Yさんには、よくしてもらってるからさ。{笑}	陳述・表出	
0044	B	けっこう、い、毎回結構、	(未完発話)	

行為実現に向けた調整	0045	A	／／うん。	注目表示
	0046	B	人がかわるからさ、	陳述・表出
	0047	A	うん。	注目表示
	0048	B	なんだろ、やっぱり、絶対なんかおもしろい、	(未完発話)
	0049	A	／／うん。	注目表示
	0050	B	出会いとかあるでしょ、あの人。	陳述・表出(1/2) 《利益の提示》
	0051-1	A	あー、わかる、	注目表示
	0051-2	A	／／んー。	注目表示
	0052	B	あれだったら。	陳述・表出(2/2)
	0053	A	確かにね。{笑}	注目表示
	0054	B	んー、だから、	(未完発話)
	0055	A	うん。	注目表示
	0056	B	次の日に、	(未完発話)
	0057	A	うん。	注目表示
	0058	B	影響が出ない程度に一、	(未完発話)
	0059	A	うん。	注目表示
	0060	B	飲めばいいんじゃないかな。	陳述・表出 《解決法の提案》
	0061-1	A	あー、	注目表示
	0061-2	A	で一、何時ぐらいから。夕方↑。	情報要求
	0062-1	B	そ、そ、そう。	注目表示
	0062-2	B	まあ、6時ぐらいから。	陳述・表出
	0062-3	B	は、／／早いから。	陳述・表出
	0062-4	B	うん。	注目表示
	0063-1	A	あ、あー、	注目表示
	0063-2	A	夕方6時ね↑。	情報要求
	0064	B	／／うん。	陳述・表出
	0065-1	A	来週日曜の、んー。	注目表示
	0065-2	A	で一、じゃさー、ちょっ、早上がり、で、じゃあ、するから。	陳述・表出
	0066	B	うん。	注目表示
	0067-1	A	あの一、B(あだ名)ちゃんもさー、あの一、Yさんに、ちょっと、じゃ、伝えといてよ。	行為要求
0067-2	A	あの一、A(姓)が、こう、来て、あの一、ま、7時半、は、8時ぐらいかな↑。8時ぐらいに、一応、あの一、あした朝早いんで、ちょっと今日はここで上がりますって言ったとき、あの一、一応、上がる、よ、上がるってゆうよな感じでさ、ちょっと、伝えといて、前もって。	行為要求	
0068	B	あー、わ、んー。	注目表示	

	0069	A	それが、そうふうな感じで、もしオッケーなら、	(未完発話)
	0070	B	//うん。	注目表示
	0071-1	A	じゃあまあ、行くよ、じゃあ。	陳述・表出
	0071-2	A	うん、	注目表示
	0071-3	A	//お世話になってるから。	陳述・表出
	0072	B	そりゃ、そりゃでも、全然大丈夫だと思うよ。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0073	A	//ほんと↑。	情報要求
	0074	B	あー。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0075	A	いい↑。	情報要求
	0076	B	あー。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
了承	0077	A	じゃあ、ちょっと、そうゆう方向で、{笑} よろしくお願ひします。	関係づくり、儀礼
	0078	B	はい。	注目表示
	0079	A	うん。	注目表示
念押しと了承	0080	B	じゃあ。	(未完発話)
	0081	A	じゃあ、来週の日曜ね。	陳述・表出
	0082	B	うん。	注目表示
	0083	A	わかった。	注目表示
	0084	B	じゃあ、よろしくね。	関係づくり、儀礼 《定型表現による念押し》
	0085-1	A	はい、	注目表示
	0085-2	A	わか、んー、わか、んじゃ。	(未完発話)
	0085-3	A	じゃ、Dさんには、ちょっとないしょにしといてよ。じゃ、この//こと。	行為要求
	0086-1	B	あー、	注目表示
	0086-2	B	オッケ、オッケ。	陳述・表出《不利益がないことの保証》
	0086-3	B	//うん。	注目表示
	0087-1	A	うん。	注目表示
	0087-2	A	じゃ、それでー、そいつ、それで、じゃあ、お願いします。	関係づくり、儀礼
	0088	B	はいー。	注目表示
	0089-1	A	はい。{笑} わかりました。	注目表示
	0089-2	A	じゃあ、来週の日曜で、よろしく。	関係づくり、儀礼
	0090	B	はい。	注目表示

用 件 終 了 の 確 認	0091-1	A	うん。	注目表示
	0091-2	A	じゃ、あ、以上、それだ／／け↑。	情報要求
	0092-1	B	あー、	注目表示
	0092-2	B	それだけ、／／うん。	陳述・表出
	0093-1	A	あ、わかった。	注目表示
	0093-2	A	じゃあまた、あの、再度、また連絡くださいー。	行為要求

【終了部】

ね ぎ ら い	0093-3	A	お疲れさまでー／／す。	関係づくり, 儀礼
	0094-1	B	はい、	注目表示
	0094-2	B	お疲れー。	関係づくり, 儀礼